

平成 20 年 3 月受託研究審査委員会の結果について

受託研究審査委員会第 2 委員会
委員長 是恒 之宏

先に申し込みのあった新規自主研究、継続自主研究について独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター受託研究取扱規程第 4 条第 1 項、国立病院機構 大阪医療センター受託研究審査委員会細則第 5 条第 1 項および同第 5 条第 3 項に基づき、平成 20 年 3 月 25 日審議を行った。

新規自主研究「ヒト剖検脳病理標本を使用した神経発生メカニズムの解析」については承認、「抗 HIV 薬治療患者における薬剤耐性サーベイランス」、「ウルソデオキシコール酸のアタザナビルによる高ビリルビン血症改善に関する臨床試験（ウルソ試験）」、「日本人未治療 HIV-1 感染者におけるエファビレンツ投与による副作用発現と血中濃度の関係を検討する多施設共同臨床試験」、「高齢者大腸癌患者における手術術式についての検討－術前状態の評価との関連性について－」については修正の上承認とした。「光干渉断層計による HIV 患者の網膜厚測定の研究」、「腎細胞癌治療における IFN- α 製剤最適投与方法の検討」については却下とした。

安全性に関する報告 1 課題については継続実施を承認した。

実施計画書記載内容等変更報告 7 課題については変更を承認した。

継続自主研究 17 課題については、特に問題なく継続実施を承認した。

その他、受託研究審査委員会審査状況調査の依頼について、「治験・臨床研究倫理審査委員研修」参加報告、当委員会委員の変更について報告された。